



JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



新ひだか町静内地区川合牧野団地に入牧した牛たち



慈善の気持ち

上島大輔さん、ほうれん草を無償提供

新型コロナウイルス感染症の拡大をうけて、当地区でほうれん草を栽培している上島大輔さんは道内で一番被害を受けていると思われる札幌市の学生や海外留学生、シングルマザーなどを支援しています。

上島さんは知り合いのコンサドーレ札幌、荒野拓馬選手の友人である飲食店経営者の木村健太郎さんにほうれん草を無償で提供し、木村さんはそのほうれん草を使った料理を同じく無償提供し支援しています。今では支援の輪が広がり、札幌市内の10店舗以上の飲食店で、同様の活動が行われています。



上島さんはハウス43棟でほうれん草を栽培しており、4kg箱で年間1万

日高郡新ひだか町静内で
ほうれん草を栽培してる
上島農園の
代表かみしまさんから
現在フードレスキューを
している
コンサドーレ荒野選手を介して
困ってるの為に
ほうれん草を使ってくださいと
連絡をいただきました！
そして本日届きました→

困ってる人に
届けてほしい！

かみしま農園の
かみしまさん

このかみしまさんの
想いを受け
代わりにぼくが
届けていきたいと思えます

届けることが
できる方がいらっしやれば
ご紹介くださいませ



ピンピンバ



ほうれん草のお浸しなど、さまざま
な料理に上島さんのほうれん草
が使われています。

ケース以上出荷しております。また日高管内でほうれん草を出荷している全体の割合のうち、8割以上を占めており、全道でもトップクラスの出荷量となります。

栽培方法のこだわりとして土作りを重要視しており、何年もかけて作り上げたこの土をおかしくしてしまつては同じように戻すことができないとのことで非常に気を使っております。植物由来の緑肥を使用しており、作付け前のハウスの土はともふかふかして、ベッドのようです。この柔らかい土はとても水持ちが良く、優しく美味しい味わいのほうれん草の原点となっております。

また現在のほうれん草の市場価格は200gで120円程度と前年と比較し下落もなく良好に推移していることから、この慈善活動に対しての上島さんの強い気持ちを感じます。

上島さんは地元支援の取組みとして老人ホームや小学校などにもほうれん草を定期的に寄付して地元を支えております。

最後に、「このコロナ禍の拡大による自身の農園も今後どういった影響を受けるのか不安ではありますが生活に困っている人を助けたい、食の温かさで元気になってもらいたいという思いがあり、出来る限り支援していきたいです。」との思いを語って頂きました。

ウェブ会議の開催

J Aしずない青年部ウェブ会議に参加

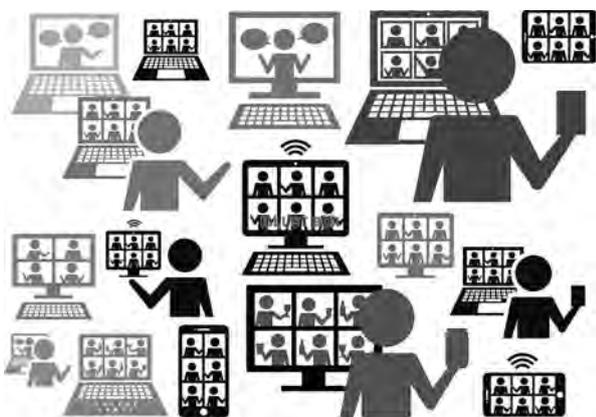
新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月には全国緊急事態宣言が発令され、札幌市などの都市部では会社への時差出勤やテレワークでの対応などの積極的な推進を求められていたところです。

その後、緊急事態宣言が解除され、在宅勤務から会社での勤務へ切り替える企業、そのまま在宅勤務を継続する企業、対応が様々となつていきます。

そのような状況の中で当JAグループも同様ですが、様々な団体の総会が書面での議決となり、また各種イベントが中止、各団体、組織の会議も中止となる中、日胆地区青年部長・事務局合同会議がウェブで開催され、当JA青年部長である福岡駿弥さんが参加されました。

福岡部長は当JAの会議室でスタンバイし、他の参加者については所属JAや、自宅など様々で、会議状況は接続の不具合により当初予定していた「Live on」アプリの他、急遽「ZOOM」という別のアプリを併用していました。

内容としては全道JA青年部大会や研修大会などの大規模なイベントに関してはすべて中止、動画コンテンツについては広報事業の一環として人数制限を実施し開催する方針であることが確認されました。



ウェブ会議での様子



そして、令和2年度 道南・後志・日胆・石狩地区合同婚活イベントにつきましては、参加希望者が日胆地区で8名、他の地区を合わせると50名程度の申し込みがあったようですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため対面不可及2メートルの間隔をあけての婚活事業となることと、今年度の開催は難しいのではないかと意見もあり、9月頃に開催される日高地区、胆振地区での個別地区会議にて再度協議されます。

今回のウェブ会議に参加した感想として福岡部長は「日胆地区青年部長会議は、全道青年部長会議での決定事項を報告する面が強く、協議事項自体は少ないことが多いので、今回のようにウェブでの開催だと負担が少なく非常にありがたいですが、協議事項の多い会議だとはやはり集まって行ったほうがスムーズに進むように感じます。」とのコメントでした。

選果場のご紹介

新型コロナウイルス感染症対策も万全です

当JAの選果場ではミニトマト、大玉トマト、キュウリが選果されており、ほうれん草やリーフレタスなどの出荷の受入も行ってあります。生産者の利便性を考慮し、24時間いつでも受入できる体制となっており、日中は現在4名の職員と37名のパートタイム労働者がミニトマト、大玉トマトの選果に当たっております。

ミニトマトの選果については、選果機が大小1台ずつで計2台あり、大型選果機については2L〜Sのサイズごと8ライン選別でき、小型選果機については2L〜Sのサイズごと6ライン選別できます。ベテランのパートタイム労働者の方も多く、小型選果機においてサイズごとに流れてきたミニトマトを箱に入れ、重量を測り、調整するという作業がありますが、箱に入れる段階で既に基準の重さに近い量を入れることが出来、ほぼ調整がいらないといったケースも多く、経験のなせる業だと感じます。



今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を行っております。



新入職員の滝澤職員も選果業務に当たっております。



大玉トマトは全て手作業での選果となります。



1 梱り(3箱分)は10kgを超え、かなりの重さです。

出荷量は279t、1kgの単価は6月末での累計実績で586円(税抜き)となっており、昨年と比較して、晴天がなかなか続かないせいか、出荷量は少なくなっておりますが、単価は良好に推移しております。

次は大玉トマトですが、こちらの選果はすべて手作業となっております。生産者が収穫した大玉トマトをコンテナからサイズごとに分け、それぞれ箱詰めしていきます。各サイズで1箱に入る個数が決まっており、サイズを見誤ると入らなくなりますが、ベテランの方々は慣れた手付きでスムーズに選果を行っております。出荷状況はミニトマトと同様、少ないながらも単価は良好です。

また、キュウリも現在は出荷がありませんが、収穫の始まる9月頃から11月頃まで選果を行い、酸化を防止する特殊なビニールの袋の入った箱に詰めて出荷します。

ほうれん草やリーフレタスなどについては通年で受入を行っており、各生産者で選果して頂いたものが選果場に持ち込まれます。

昨今は選果場パートタイム労働者の人数も減少傾向にあり、特に土日の選果では人員のやりくりが大変になっているようです。今後ともご理解と応援よろしくお願い致します。

大きな成長を願って

新ひだか町静内地区川合牧野団地へ入牧始まる

新ひだか町静内の川合牧野団地において、5月13日に静内酪農振興会（会長 小池孝義さん）の生産者を始め、各関係機関により乳牛の入牧が行われました。

牧野団地は92ヘクタールの広大な敷地に、牛のストレスを軽減し、健康的な育成、丈夫で元気な仔牛を生ませることを目的に行っており、今年は振興会生産者7戸から集められた生後6ヶ月から24ヶ月齢までの乳牛89頭が入牧しました。

牧野入牧前には2〜3日かけて、牧区の維持管理の為に広大な敷地の有刺鉄線の修理や伸びた木の枝の伐採、老朽化した牛捕獲用の柵やゲートなどの修理を利用生産者自ら行っており、作業中に熊を目撃し駆除を依頼した年もあり、牧野の奥の水源地では熊捕獲用の罠を設置し、毎年のように捕獲しております。

入牧の際には事前に各生産者が行った妊娠鑑定に加え、コンディションチェックの為の採血や体重測定も実施し、牧区分けも月齢の近い牛ごとに実施しており、小さい牛が大きい牛にいじめられることがなくなり、ストレス低減に効果を発揮しています。



上の写真の有刺鉄線は利用者自ら直しております。毎年、鹿などの野生動物に切断されており、入牧中の牛についても個体によっては切断し逃走します。

入牧後も利用生産者が中心となり、忙しい牧草時期の合間で関係機関協力の元、2週間ないし3週間に1回、夕二除けの薬の塗布、妊娠鑑定、体調不良牛の採血を実施しています。また牛の食べる草が不足しないよう、牛たちを定期的に空いている牧区に移動します。

新ひだか町の町有牧野は三石地区を含め複数ありますが、中には利用者の減少等で閉鎖したものもあります。川合牧野は利用生産者の積極的な協力体制により維持運営されております。

前年度は体調不良での退牧は無く、1頭当たり152kgの体重増、受胎率は72%と、とても良い結果が得られました。

今年度も牧野での放牧は10月末まで行われる予定であり、退牧時までに1頭当たり150kg以上の体重増を目指します。



体重測定風景



近隣の牧場まで逃走したこともあります。見つけたら優しく迎えてあげてください。ご理解・ご協力お願い致します。



道路を歩かせての牧区移動もあり距離があるため、かなりの重労働になります。また、個体によっては人間の制止を振り切り逃走します。

より良い素牛づくりを目指して



新ひだか町静内和牛生産改良組合の取組みとして、牛の健康診断を行っております。

牛の健康診断は人間での血液検査と同じで、牛の血液を採り分析します。例えば肝臓の値が高いという結果が出た場合は、人間の場合は生活習慣を見直すなどありますが、牛は食べている餌を調整します。ちょっと貧血気味という結果が出た場合はそもそもこの牛は餌を食べているのだろうか、いじめられて食べれていないのではないかもしれないというように考え、個別に餌を食べれる状況を作ったり、いじめられないよう、別の群れに移してあげるなどの対応をします。

この健康診断を行うことでどのようなメリットが生まれるかといいますと、人間と同じで牛の寿命が延びます。繁殖雌牛は子牛を産むことが仕事であり、産めなくなってしまうたら肉になってしまうため、繁殖雌牛の寿命イコール子牛を産める期間ということになります。元気な繁殖雌牛は受胎がよく、生涯で多くの子牛を産むことが出来るようになります。また元気で病気に強い大きな子牛を産んでくれるようになるので、市場での価格もよくなり、農家所得が向上します。

この取組みは代謝プロファイルテストといい、北海道では当改良組合が初めて実用化したものです。併せて牛の食べている牧草の成分を調べる粗飼料分析も併用して行っています。

このほかにも毎年変わる牛の血統情報に関する研修会や、今回の代謝プロファイルテストの講習会も後継者である青年部向けにも行い、研鑽に努めております。

今後とも応援よろしくお願い致します。



後継者である青年部も勉強熱心です。

黒毛和牛素牛 市場販売成績

(令和2年5月市場~7月市場)

ホクレン素牛市場は7月での前年比較で12万円程度安値で推移しています。

※取引結果については、安平町・ホクレン南北海道市場でのもの。(取引価格は税込み)

5月市場 (5月8日開催)

販売頭数 68頭 (去勢38頭 めす30頭)
販売金額 44,763,400円 (去勢 25,927,000円 めす 18,836,400円)
平均価格 658,285円 (去勢 682,289円 めす 627,880円)

6月市場 (6月3日開催)

販売頭数 75頭 (去勢39頭 めす36頭)
販売金額 48,470,400円 (去勢 25,988,600円 めす 22,481,800円)
平均価格 646,272円 (去勢 666,374円 めす 624,494円)

7月市場 (7月2日開催)

販売頭数 65頭 (去勢36頭 めす29頭)
販売金額 40,904,600円 (去勢 23,866,700円 めす 17,037,900円)
平均価格 629,302円 (去勢 662,964円 めす 587,514円)

海桜丸、販売中 去年よりもさらに良い出来！

稲作振興会（会長 村田信治さん）での良質な馬糞堆肥を使用したお米の栽培環境と良食味米生産技術を活かして作られた酒米を原料に今年も海桜丸を醸造し、販売しております。

辛口に仕上がったフルーティーで豊かな味わいですので是非ご賞味ください

海桜丸は四合瓶（720ml）、
1700円でAコープ静内店にて販売しております。

新ひだか町地酒 新酒ができました

—新ひだか町静内産
特別栽培米「陸奥」で作りました—

海桜丸



価格
720ml(四合瓶)
1,700円(税込)

JAしずない
Aコープ静内店
TEL:0146-46-2885
FAX:0146-46-2887

農作業パートの斡旋 無料職業紹介所開設

営農部営農課では不足する農作業パート問題解決に向けて、無料職業紹介所を開設いたしました。

皆様に希望の労働条件を提示いただき、応募があった求職者とマッチングを行います。ホームページにて求人申込票と応募用紙がダウンロードできるようになっておりますので、ご活用願います。

不明点やご相談のある方につきましては
営農部営農課 0146-42-1051までご連絡ください。



[http://ja-shizunai.or.jp/
minitomato/syokugyousyukai/
index.html](http://ja-shizunai.or.jp/minitomato/syokugyousyukai/index.html)

理 事 会 報 告

5月理事会（27日）

1. 規程類の変更（案）について
2. JAしずない組合員対処方針（内規）について
3. 令和2年度 農業基盤整備促進事業（案）について
4. 令和2年度 畜産経営体生産向上対策事業（案）について
5. 令和2年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（案）について
6. 令和2年度 肉用牛経営安定対策補完事業（案）について
7. 令和2年度 軽種馬生産基盤整備対策（放牧地等整備）事業（案）について
8. 令和2年度 軽種馬生産基盤整備対策（担い手機械リース）事業（案）について
9. 令和2年度 体重計等計測機器導入補助事業（案）について
10. 「JAしずない無料職業紹介所開設の取組み（案）について
11. 日高中部集送乳運営委員会委員の選出について
12. JAしずない 対策農家対処方針（内規）について
13. ディスクロージャー誌の縦覧について
14. 夏期手当の支給について

6月理事会（26日）

1. 令和2年度 軽種馬生産基盤整備対策（放牧地等整備）事業（案）について
2. 令和2年度 酪農生産基盤の維持及び強化に係る機材等導入（案）について
3. (株)メグミルク株の売却について

国が支える

安心の終身年金

農業者年金

保険料は全額社会保険料控除で大きな節税効果

条件を満たす担い手には月額最大1万円の保険料補助

農地の名義がない配偶者・後継者も加入できます

**60歳未満
国民年金
第1号被保険者
年間60日以上
農業従事**

以上の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。詳細はHPにてご案内しております。お電話でのお問い合わせもお気軽に。

ポイント

1の説明

積立てる保険料は、社会保険料控除の対象となり、大きな節税効果があります。

積立てる保険料は、将来年金として受けられるというメリットだけでなく、払った家族分の保険料も含めて社会保険料控除の対象となり、大きな節税効果があります。

保険料月額6万7千円を払えば、年間80万4千円が社会保険料控除の対象となり、課税対象所得が330万円超695万円以下であれば、1年で約24万4千円の節税ができます。

同一生計の配偶者や後継者の保険料を払った場合は、額に応じて節税額が増えます。

■保険料控除分の節税額(所得税・住民税)の目安

課税対象所得	税率	保険料月額2万円 (年額24万円)の場合	保険料月額6万7千円 (年額80万4千円)の場合
195万円以下	15.1%	3万6千円	12万1千円
195万円超330万円以下	20.2%	4万8千円	16万2千円
330万円超695万円以下	30.4%	7万3千円	24万4千円

※保険料支払分で控除される所得税+復興特別所得税+個人住民税の額の試算です。保険料支払い後も保険料支払い前と適用される税率に変更がないものとして試算しています。

ポイント

2の説明

**運用益は非課税!
制度発足以降16年間の運用利回りは、年率で+2.89%!**

積立方式・確定拠出型の年金です。運用益は非課税で年金の原資として積み上がります。毎年度の年金試算の積立・運用状況は毎年6月末までにお知らせをしています。これにより、自分の積み立てた額や運用益の状況がわかるようになっています。

■年金資産の運用実績

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
修正総合 利回り(%)	-4.65	+5.99	+3.40	+9.80	+3.27	-4.73	-9.25	+9.14
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
修正総合 利回り(%)	-0.06	+2.36	+9.62	+7.75	+8.78	-0.6	+3.26	+4.75

平均運用利回り 年率で+2.89%

ポイント
3の説明

農業経営の状況に応じて保険料を増額し、節税額をアップ!

農業経営にゆとりが出たときは、保険料の毎月の保険料額を増額したり、翌年1年分をあらかじめ一括して納付する「前納納付」で当年中に納付する保険料額を増やして、節税額をアップすることもできます

死亡一時金もあり安心

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として遺族が受け取れ、死亡一時金は非課税です。

※加入期間等により払った額を下回ることがあります。

受け取る年金は公的年金等控除が適用
事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

詳しくは…

<https://www.nounen.go.jp>

独立行政法人
農業者年金基金



TEL: **03-3502-3199**(専門相談員)

TEL: **03-3502-3942**(企画調整室)

農業者年金の内容やご相談については、JAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

JAしずない ☎ 0146-42-1051 (担当: 営農課 住友)